

豪雨時の被害軽減

富山・射水市

国・県が排水ポンプ増設



越の潟町地区の排水機能強化を、住民らと喜び合う不後市議（左端）

富山県射水市の越の潟町地区で先ごろ、大雨の冠水被害を防ぐため排水機能が強化された。国土交通省・伏木富山港湾事務所と富山県富山新港管理局が富山湾への排水ポンプを1基ずつ増設した。

同地区は海拔1.5mで地盤が低く、過去の豪雨で床上・床下浸水などの被害を受けてきた。排水が進まないことによる害虫の発生も問題になっていた。

公明党の不後昇市議は、

同地区の自治会長からこうした問題について相談を受け、浜田昌良参院議員に連絡。浜田氏は2016年春、現地を訪れて住民から話を聴くとともに、国・県それぞれに排水施設の管理者に排水機能強化を求めた。

自治会長の男性は「また豪雨が起きたらと考えると不安だった。少しでも早く排水できるようになり、ありがたいです」と喜んでいた。

©公明新聞